

凡 例

1. 第四部は第一部と第二部の索引である。

2. 索引は洋書部と和書部に分かれている。

i) 洋書部の索引には、ゴシックの著者名・編者名・書名の他に *PIERRON* の様に表記した訳者・編者・校訂者等と、() 内の叢書名が出ている。

排列は ABC 順とし、その最後に著者等が本来漢字で表記するものをアイウエオ順で並べた。表記は姓と名の頭文字を出した。名の頭文字が同じ場合には名も全部表記した。姓名の右の番号は通し番号である。正立が著者又は論文執筆者で、それ以外の訳者等はイタリックになっている。

ii) 和書部の索引には 9 ポイント活字の著者名・編者名・書名と 8 ポイント活字の訳者・編者等が出ている。

排列はアイウエオ順とし、その最後に西洋人をアイウエオ順と ABC 順で並べた。表記はアイウエオ順の場合は姓名で、ABC 順の場合は姓と名の頭文字になっている。姓名の右の番号は通し番号である。正立が著者で、それ以外の訳者等はイタリックになっている。

3. 読みについて

洋書の読みは原則として原書の表記に従ったが、第一部凡例でも断わったようにギリシャ・ラテン系の名前の場合には平凡社の哲学事典の表記とし、校訂者等がラテン語名になっている時には、出来るだけ本名に直したので、その方で引かれない。

和書の読みでは、難しいものは音読みで適当な所に挿入したが、誤りも多数あると思われる。御寛恕願いたい。